

複合型施設 みすぎの郷

地域密着型特養 29名 ショートステイ(共生型含む) 10名 デイサービス(地域密着型通所介護・共生型・相当)15名
基準緩和型 1回5名

新型コロナウイルスクラスター発生時の対応

みすぎの郷では、2月にショートステイユニットで新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。結果として職員4名、利用者様2名が罹患しましたが、内部研修等でゾーニングシミュレーションや初動対応等を繰り返し行ってきたことで、職員配置などの業務継続をスムーズに行なう事ができ、発生を最小限に留める事が出来ました。



個別ケアの取り組み



今年度より、個別ケアの取り組みとしてユニット配膳を実施しました。今までは給食業者が厨房でお皿に盛り付けを行ない、盛り付けてある状態で提供していました。今年度からは、職員が入居者様の目の前で盛り付けを行っています。食事の準備を目で、耳で、鼻で感じながら盛り付けを一緒に行なう事で、食事の時間が楽しみになったり、食べる意欲を高めることとなります。また、入居者様の中には“食事を残したくない”人もいますので、各入居者様の好みに応じた量を提供する事によって、フードロスを抑える取り組みにもなっています。その他、入居となる前までの、それぞれのご家庭での日常を、少しでも思い出して頂けたら嬉しく思います。

福祉機器の導入

みすぎの郷では高齢化に伴った介助量の増加、介護度の重度化が見られており、福祉機器の導入に積極的に取り組んでいます。今現在では吊り上げ式の床走行リフターや立立式リフターを導入しています。利点として、介助者による偏りのない同一な介助、入居者様と職員の介助負担の軽減、入居者様の残存機能を保ちながらの支援、入居者様の希望に合わせた介助方法の実施(意思決定支援)、人件費の削減等があります。入居者様の希望に沿った生活を実現させるためにも福祉機器の導入を進めています。



次年度に向けて

- ◆ 「喜笑天結」をキャッチフレーズに、個別ケアへの理解を深め、“その人らしい”生活を支援していきます。
- ◆ 福祉機器の導入を積極的に行ない、入居者様のニーズに沿った介護、先進的な介護を目指します。
- ◆ 地域に根ざした施設として、みすぎの郷から地域に対し様々な働きかけをしていきます。